

特定非営利活動法人大阪マスタース陸上競技連盟 第28回理事会議事概要

- 招集年月日 2019（平成1）年12月4日（水）
■開催日時 2019（平成1）年12月22日（日）14：15～16：05
■開催場所 キンチョウスタジアム2階会議室
（大阪市東住吉区长居公園内）
■理事総数 27人
■出席理事 26人（本人出席 19人、議決権行使者 7人） 出席監事 2人
- 会 長 熊木 利隆
副 会 長 赤峰フミコ、大橋 一男、山中 保博
専務理事 池上 健三
常務理事 安達 芳恵、小西 宏之、坂下 勝正、並川 耕士、藤田 幸久、村井 正信
理 事 浅村眞理子、井指 康裕、上村 京司、宇野 初男、大倉 節子、数野 哲也、
神谷 亨市、柴田 秀治、鶴川 久壽、二宮 一、早川 禎一、深尾 真美、
松島 忠土、三宅 要、森井 正和、藪下 正治、
監 事 椎木 茂久、中島 静一
（注）下線は議決権行使者。斜体字は議決権不行使者。

■議案の経過要領および議案別議決の結果

第1号議案 2020年度の専門委員会の構成と運営について

池上専務理事から、専門委員会の分掌業務、運営方法等について説明があり、常務理事以下の理事はいずれかの委員会または部会に所属することとし1月の理事会までに本人の希望を聞く中で調整していく。また、できることから委員会の活動を始めることや委員会の活動費用などについて、説明がなされた。

次いで、村井正信常務理事から委員会活動について、①これまでの活動をベースに動かしていく、②別表の各委員会の分掌業務は、活動をしていくなかで対応できる業務とできない業務とに分別し決めていく、③委員会活動は柔軟な姿勢で対応していきたいとの見解が示された。

委員会活動費用について、委員は無報酬とし、現行理事会で支給している1回あたり交通費相当額1,000円とすることについて、上村京司理事から上陸ソフト作成で徹夜の作業をしている人もいる、車の借り上げ等の費用や活動中の補償も必要ではないか、との質問があった。これに対し、池上専務理事から、上陸ソフトの作成など競技会等の運営に関する費用については事業費に計上して対応していく、また、各種会議等の費用の支出については、大阪陸協の基準に準拠し調整していくことが池上専務理事から説明がなされた。

また、柴田秀治理事からプログラム印刷費用について、現在の費用からみて1/2～1/3程度でできる業者があるので費用節減が可能になるので検討してほしいという意見が出された。これに対し、池上専務理事から相見積もりを取るとの考え方が示された。

これらの論議を受けて議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

第2号議案 2020年度の事業計画（案）と競技会要項について

1. 2020年度の事業計画（案）骨子について

2019年度の事業を基本的に踏襲する中で、専門委員会活動を充実させ、会員サービスの充実を図って行くことを骨子とした、事業計画策定に対する基本的な考え方が示された。

このなかで、用器具の更新を検討する項目について、山中副会長から現状では検定が通らない可

性能があるので、競技会の際にニシスポーツに来てもらい、重さ、重心等の規格について検定してもらってはどうかとの提案がなされた。

椎木茂久監事から、検定に合格している用器具を使用することは大会運営者側の努力義務と思われるが、持ち込みの用器具はどうなるのかとの質問があった。池上専務理事から、大会要項では棒高跳のポール以外は、「主催者準備の用器具を使用する」と規定していると説明があり、山中副会長から、競技場備え付けの用器具は検定済みのものを使用しており、マスターズ特有の規格の部分が検定の必要性があると説明があった。さらに森井正和理事から、具体的には円盤も0.75 kg、砲丸・ハンマーの3 kgなどが該当するとの補足説明があった。

用器具の検定については、2020年度の競技会の中でニシスポーツの検定を受け、検定に不合格のものから更新していきたいと池上専務理事から対応策が示された。

これらの論議を受けて議長が、2020年度の事業計画（案）の骨子を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

2. 2020年度の事業計画（案）について

池上専務理事から2020年度の事業計画について説明がなされ、次いで、大阪陸協から5月のマスターズの大会で学連の審判講習会をさせて欲しいとの要請を受けているので、ヤンマーフィールド長居で予定している大阪マスターズ選手権と南部忠平杯のうち、全体の競技時間が短い「南部忠平杯」を6月14日から5月5日に、「大阪マスターズ選手権」を5月5日から6月14日に日程変更をして対応したいとの提案があった。12月24日の陸協理事会での決定を受けて正式決定したいとの説明が合わせてなされた。

これに対し、上村理事から学生審判員の資格を有しているものが学連の審判員講習に当たればよいのではとの意見が出されたが、数野理事から講習の指導審判員は陸協から派遣されるので、大阪マスターズとして講習会に対し特段の負担はないとの説明がなされた。

これらの論議を受けて議長が、5月5日のマスターズの競技会で学生審判講習会が行われることが正式に決定されたら南部忠平杯と大阪マスターズ選手権と日程を変更することで2020年度の事業計画（案）を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

3. 2020年度の競技会要項（案）について

(1) 要項を会報別冊とし、分かりやすい内容に編集しなおす。

池上専務理事から、参加者に分かりやすい要項とするため、会報の別冊とし、共通項目と各競技会の項目に分けた素案が提示された。藤田幸久常務理事から競技クラスは共通項目でまとめて掲載したほうが良いとの意見が出された。この意見を踏まえて、編集をしていくとの見解が池上専務理事から示された。

これを受けて議長が、賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

(2) 競技会ごとの競技種目および制限時間等の見直し

池上専務理事から競技時間の短縮を目的として、各競技会の種目の見直しと中長距離種目の制限時間の見直しをすることについての提案説明がなされた。これについて、大倉節子理事から10000mの制限時間が50分では短過ぎるのではないかと、という意見が出された。これに対し、数野理事からは、新しい周回に入らないということなので、50分+2~3分はあるのではないかと、という意見が示された。これらの論議を踏まえて池上専務理事から、10000mを含めて3000mW、5000mWについても再度、精査して制限時間を再設定したいとの見解が示された。

また、中島監事から写真判定機を1台追加してホームとバックで同時にレースを行うことについての提案・説明がなされた。山中副会長からヤンマーフィールド長居については、バックもレースができるようになっており、陸協の写真判定機を借りれば対応可能との見解が示された。ただし、公認競技会のレースの形態や審判員の確保等、今後詰めるべき課題も多いため、今後の検討課題としたいとの見解が池上専務理事から示された。

これを受けて議長が、競技会ごとの競技種目および制限時間等の見直しについて、10000mおよび3000mW、5000mWについて制限時間を再設定することで賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

(3) 大阪マ記録会兼府民スポレクの参加料の改定について

池上専務理事から現行の参加料のベースは、共催の府民スポーツ・レクリエーション組織委員会から助成金を受けていた当時のものであり、参加者の抑制のため一定の参加料の増額改定はやむを得ないと考える。このため、マスターズの部を近畿と近畿以外に分け、一般の部と合わせて3区分（小学生除く）にしたいとの提案説明があった。

これに対し、熊木会長から、これまで大阪は参加料を他府県と区別をしないで来た経緯にあるとの説明があり、森井理事からは他府県の競技会に行っても成績がオープンになることはあっても参加料の区別はないとの報告があった。これらの論議を踏まえて池上専務理事から、事務局としても参加料の細分化は申込受付が複雑になるので実務上は避けたいので、従来通りマスターズと一般の2区分のままで参加料の改定を再検討したいとの考え方が示された。

これを受けて議長が、大阪マ記録会兼府民スポレクの参加料は、細分化しないで改定案を再検討することについて賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

第3号議案 2020年度の総会について

池上専務理事から2020年2月9日（日）開催予定の2020年度総会の式次第や主要な役割分担等について説明があった。なお、議長については会員の津田光央さん、講演会については理事の井指康裕さんをお願いするとの追加説明があった。

以上の提案説明の後、議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

第4号議案 2020年度会報について

2020年度の会報について、池上専務理事から、40周年記念誌と同時期の3月発行とし、編集の基本方針、発行計画、編集担当者について説明なされた。以上の提案説明を受けて議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

4. その他

議案以外に、次の事項について報告があり、情報共有がなされた。

- (1) 2020年度近畿マスターズ競技日程（案）の中途報告（報告者；池上専務理事）
- (2) 2021関西ワールドマスターズゲームズにおける「投てき五種」「重量投」についての京都マスターズからの協力要請について（報告者；池上専務理事）
- (3) 2020~2021年度役員就任承諾書に関する説明について（報告者；池上専務理事）

以上